

以下の①から⑤の新聞記事から二つを選び、それぞれ次の点につき答えなさい。

1. 記事において問題となっている労働法上の論点
2. その論点の前提となる法内容の説明
3. その論点に関する諸説
4. その論点に関する自らの見解

注意：1. 選択した記事番号を明記すること。二題の解答がないと回答とは認めない。二題の解答の順序は問わない。

2. 一題を解答用紙の表面に他の一題を裏面に書く目安で記述すること。解答に関係ない事項を記入した答案は無効と扱う。

3. 採点基準（各問 50 点満点、合計 100 点満点で採点する）

a) 設問の 1. から 4. の項目毎に、基本的には○△Xの三段階評価を行う。

b) 必要なことが述べられていれば○で 10 点、不十分ならば△で 5 点、関係することが何も述べられていなく X で 0 点。

c) さらに、独創的な考えがみられた場合には、各問共に 10 点の範囲で追加点をつける。

## ①キャバクラ事件

朝日新聞 2021 年 10 月 15 日付より作成

キャバクラで働いていた女性が残業代など約 1100 万円の支払いを店側に求めた訴訟。店側は「業務委託契約」のため残業代は発生しないと主張していた。原告の女性は、残業代、深夜割増賃金、客がいないとして本来の終業時刻より早く帰らされた分の賃金、備品や送迎費用として賃金から控除された金額などを求めて訴訟で争っていた。原告側によると店側が働いた時間をタイムカードや日報で記録しており、店長らスタッフの指示を受けて接客にあたっていた。

## ②千里金蘭大学事件

朝日新聞 2010 年 07 月 27 日付より作成

千里金蘭大学が、募集停止した人間社会学部と現代社会学部の専任教員計 21 人全員に希望退職を募っていることがわかった。希望しない教員は今年度末で解雇する方針。両学部には 3、4 年生計 100 人が在籍しており、卒業論文の指導などが困難になるおそれがある。大学側は「必要な教員は非常勤などの扱いで再雇用する」としている。教員の一部は退職強要があったとして地位保全を求める仮処分を大阪地裁に申請する予定。

## ③建協クリーンロード事件

朝日新聞 2020 年 09 月 04 日付より作成

時間外労働を拒否したことで懲戒処分を受けたなどとして、県道の清掃業務を請け負う会社の 30～50 代の従業員の男性が 3 日、同社を相手取り、処分の無効と減額された賞与の支払いを求める訴えを起こした。訴えによると、県道の夜間トンネル清掃に関し、原告は「バワハラをする上司と一緒に危険な作業をすることは、不測の事態を招きかねない」などの理由で参加しなかった。昨年 9 月、原告 3 人に譴責（けんせき）の懲戒処分、同 12 月の賞与については同 4 人が減額されたという。

## ④太陽液送事件

朝日新聞 2020 年 03 月 17 日付より作成

運送会社・太陽液送の下請け会社で液化ガス輸送をしているタンクローリー運転手 6 人が 16 日、実際は「偽装請負」状態になっているとして、同社と直接雇用関係にあることの確認を求める訴えを大阪地裁堺支部に起こした。訴状によると、6 人は太陽液送の下請けの堺市内の運送会社に所属。通常は入社後、太陽液送の事務所に移動して飲酒検査を受け、液化ガスを積み込んで配送にあたっている。配送先の変更など日常的な指揮は太陽液送がしており、原告側は「実態は太陽液送への派遣労働だ」と主張

## ⑤JR 東日本事件

朝日新聞 2019 年 12 月 27 日付より作成

JR 東日本の社員 4 人が 26 日、同社に計約 500 万円の損害賠償を求める訴訟を東京地裁に起こした。原告は、JR 東労組東京地方本部に加入する 30～40 代の男性 4 人。訴状などによると、原告の 1 人は職場の懇親会で、2 人の上司から「まだ組合やめないの?」「早くやめろよ」といった発言を 20～30 回受けたという。